



はこべら

いよいよ夏休み！



今日で令和六年度の一学期が終わりました。一学期は、運動会をはじめとする様々な行事や活動を通して、六年生は学校のよきリーダーとして、また、他の学年も、それぞれ学年学級の絆を深め、一回り成長できたように感じます。

子供たちの成長の転機となったのは、間違いなく運動会です。特に今年度完全復活した応援合戦への取組だと思えます。校内遠足となった日に行った応援団の結団式。体を震わせ、大きな口を開けて声を出す子供たち。パワーがみなぎり、学級、学年、学校全体のまとまりが生まれた瞬間でした。運動会でも、その力は発揮され、運動会後も元気な東っ子の姿がありました。一学期の子供たちに「はなまる」です。

明日から、いよいよ夏休みです。子供たちにとっては、待ちに待った夏休みかもしれませんが、異常な気温の高さも気になります。子供たちが安全で、有意義な夏休みが送れることを願っています。そのためにも、家庭でしっかりと約束を決め、規則正しい生活を送らせることが大切です。発達段階に応じて、自己管理ができる力を身に付けさせていく必要があります。全てを大人が決めてしまつのではなく、また、子供任せにするのではなく、親子で話し合い、約束を決めてください。「自分の命は自分で守る」「自分で考える」ことができる子供たちに育ってほしいと願います。

学校サポーターの皆様へ感謝！

七月九日に「学校サポーターを迎える会」を開催しました。この日は、「ごほんの会」「地域安全見守り隊」「花さかせ隊」「まるとけ隊」の十二名の皆さんに参加していただきました。代表の六年児童の「サポーターの皆様のおかげで、安心して学校生活を送ることが出来ます。今年度も、よろしくお願いします。」という言葉の後、全員で校歌を歌い、感謝を伝えました。

東小にはこの他に、「トンカチ隊」や「お絵描き隊」「英語で話し隊」「家庭科支援隊」があります。東っ子の周りには、地域の子供たちの健やかな成長を願い協力してくださる地域の方がたくさんいらっしゃいます。皆さん、「自分の貴重な時間を割いて、ボランティアでサポートをしていただいています。本当に感謝です。私たち学校も子供たちも、普段から感謝の気持ちを持ち、その思いを伝えると共に、期待に応えられるよう頑張っていきたいと思っています。保護者の皆様も、機会をとらえてサポーターの皆様へ感謝の気持ちを伝えください。

夏休みも続くといないな！

給食時間の放送で、毎日、放送・広報委員会の子供たちが「あいさつはなまるさん」を紹介してくれまます。子供たちの励みにもなっているようです。最近では併せて「はきもの並べはなまるさん」として、



下足箱の靴が揃っている「はなまる学級」を紹介しています。一カ月ほどの取組ですが、ほとんどの学級が揃うようになり、並んでいない靴は全校で十以下になりました。良い習慣が身に付きつつあります。「あいさつ」や「はきもの並べ」の良い習慣が、夏休みの間も続けばいいなと思っています。「ご家庭でも引き続き「あいさつ」「はきもの並べ」への家族全員での取組をお願いします。

先週から保護者の皆様が面談に来てくださっているのですが、職員玄関の保護者の皆様の靴もすっかり並んでいました。周りの大人が正しい行いを見せることで、子供たちは迷うことなく進むことができます。家庭、地域、学校が思いを共有し子供たちをまっすぐ育てていきましょう。

通知表二回制の効果！

今年度から保護者の皆様にご理解いただき、二学期制はそのまま、通知表の発行を前期・後期の二回発行に変更させていただきます。おかげで、これまで評価に追われ慌ただしい学期末を迎えていた七月も、最後まで落ち着いて授業がなされていたように感じます。子供たちの日々の生活の安定につながりました。

学校閉庁期間

八月十日～十六日

※緊急に連絡が必要な場合は、時津町教育委員会
学校教育課(022-260800)へご連絡ください。

登校日 八月九日・二十七日～三十日
始業式 九月二日

特別支援教育だより

めばえ

～ 特別支援教育が特別ではなくなる日を目指して～

令和6年7月19日
時津町立時津東小学校
特別支援教育コーディネーター
文責 若杉 聡
第3号

特別支援NEWS 拡大版！

やってみました特別支援 ～さあ、夏休みです！～

いよいよ明日から、あの夏休みがやってきます。子ども達はワクワク。大人は憂うつ…。その原因の一つに大量の宿題があるのではないのでしょうか。(・・;)

子どもに任せっぱなしだと、字は雑、間違いだらけ、したくないページは真っ白…。こうならないために我が家では！

①生活のリズムを崩さない

そのために土日、お盆期間以外は朝のラジオ体操に**生放送**で参加させます。この一つを決めておくことでその後の「朝食」「宿題」「遊び」「夜は遅くなる前に寝る」といったことを気付けるようになります。



②見通しを持たせる

国語〇ページ、算数〇ページ、図工の作品作り、書写などと書きだします。(東小では問題集を購入してもらいますので、目次のページを活用できます。)そこに、子どもが終わったら丸印を、大人が丸付けをし、やり直しまで終わったら×印をつけていきます。さらに別紙に日にちを書き、『7月〇日～◇日…国語1ページ算数1ページずつ、7月△日…図工の作品作り』などと計画を立てさせます。このことで進み具合が視覚的にわかるようになります。

③がんばって終わったらごほうび

大人も子どももごほうびがあればがんばれますよね。(^_^)
例えば『ラジオ体操スタンプ20個でノート1冊orソフトクリーム1つ』
や『宿題が終わったら外食orお出かけ』(全部が難しかったら半分終わったら少しのごほうび)

せっかくの夏休みです。子どもも大人も楽しい夏休みとなるようひと工夫してみてもいかがでしょう。(^v^)



家庭でできる支援 「脱・のび太君の部屋」



ドラえもんの中に登場する、のび太君の部屋の学習机の位置をご存じでしょうか。実は、この部屋の学習机は、窓の前に置いてあります。カーテンが開けられていて、空がよく見えます。実は、のび太君のように集中力が長続きしにくい場合、カーテンを閉めるか、机の位置を移動すると学習に集中できるかもしれません。明日から夏休みに入ります。家で学習に取り組む時間が増えると思います。ご家庭の学習環境はどうですか。